

学校の教育目標	豊かな人間性と たくましい創造力をそなえた 心身共に健全な子どもの育成
---------	-------------------------------------

学校経営の重点	評価指標	自己評価	結果の考察・分析、及び改善策等	学校関係者評価	
				評価	コメント
確かな学力の定着と向上	学習のきまりを守り、宿題や読み声、家庭学習に進んで取り組んでいる。	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 持ち帰りを習慣化させ、タブレット端末を効果的に活用した授業改善に取り組んだ。 1人で考える時間の確保、話し合う場の設定等をしたことで、主体的・対話的で深い学びが少しずつではあるが、成果が見られる。 読書活動の推進のため、図書室の環境の整備を図書支援員の先生と共に取り組んだり、読書ビンゴなどをしたりして意欲を高めた。 	3.6	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習での保護者評価がやや低い、担任に分からないところを聞こうとする積極性が低い点気になる。 授業参観をして、熱心な教育が見られた。
	主体的・対話的で深い学びができる授業を創造したり、読書量を増やしたりする工夫をしている。				
	小規模校ならではの個に応じた学習指導に取り組んでいる。(タブレットの活用等)				
豊かな人間性の育成	道徳を中心とした心の教育により、規範意識と人権意識を高めている。	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 学校の目指す子ども像を意識したSWPBSの取組を始め、望ましい行動について児童と目標を共有し、支援してきた。 いじめ・不登校は、「どの学校でも起こりえる。」という認識をもち、児童のサインを見落とさず、児童理解と共通指導に努めた。 早期発見・早期対応を行った。また、かがやき委員会等で職員の共通理解を図り、共通実践することができた。 真幸小との交流や高齢者クラブの方との様々な交流をとおして、児童のコミュニケーション力の向上につながった。 	3.7	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達からのあいさつが昨年度よりよくなってきている。
	児童が自分から進んで、元気のよいあいさつができるよう指導している。				
	様々な体験活動を通して、協調性やコミュニケーション力が伸びてきている。				
健康で安全な学校	児童一人一人に合った体力づくりに取り組んでいる。(スクールスポーツプランに基づく体力づくり)	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 本年度も、学校保健委員会で全児童・保護者を対象に、スクールカウンセラーを講師として招き、研修を行い、とても好評だった。 体力の向上では、スクールスポーツプランの具現化のため、個々の課題に応じた手立てを講じてきたことで、全体的な体力の底上げができた。 避難訓練等を工夫して実施したことで、児童と職員の安全への意識の向上を図った。 	3.7	<ul style="list-style-type: none"> スクールスポーツプラン(計画)がよく分からない。個人差があるので、難しいと思う。 子どもの安心安全を考えて環境づくりがなされている。
	基本的な生活習慣のもと、健康や安全に気を付けて生活している。				
	安全点検や避難訓練の充実等を通して、危機回避能力の向上に取り組んでいる。				
地域に開かれた学校	地域の力を活用した学習や学校行事等を通して、ふるさとを大切に思う児童が育っている。	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 芋の苗植えや芋掘り、グランドゴルフ交流や公民館での学習発表など地域の方々と楽しく交流してふるさとを思う気持ちが高まった。 学校便りやマチコミメールなどによる情報発信、ホームページ内の学校日記・行事予定の更新を行い、情報発信を行った。 	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 公民館での子ども達の学習発表は、高齢者の方々にとってとても嬉しいものとなった。
	授業参観や各種通信、HP、まちコミメール配信などで適宜学校の様子を知らせている。				

評価は4段階(4:期待以上 3:ほぼ期待どおり 2:やや期待を下回る 1:改善を要する)